

あなただけの旅、見つけよう

みちのり

Take

FREE

夏

2026

ご自由にお持ちください

◎特集1

絶景! 夏の フラワーガーデン



◎特集2

佐渡は、
まるごと舞台だ。
~今も民衆が舞い続ける島~

◎特集3 ツウさんぼ

黒磯
リノベーション
さんぼ

◎連載

ごちそうパレット〈飯坂温泉〉

◎新連載 郷土を味わう銘菓セレクション

◎新連載 お得で便利なバスの旅♪ 福島バス物語

伝統の上に 新たなサービスを 乗せて

「みちのり」グループには
100年を超える歴史を持つ会社もあり、
地元密着で皆さまの足となり支えてきました。
でもそれだけではないんです。
新しい路線・車両、無線LANやバス接近情報など、
便利・快適・安全のための革新に日々取り組んでいます。
遠くまで／近くても、出張に／観光に、
一人で／みんなで、これまでも／これからも。
あなたのそばに新しいみちのりが
あるかもしれません。



東海・関西方面
名古屋、京都、大阪

MICHINORI

- 岩手県北自動車【盛岡】
- 福島交通【福島】
- 関東自動車【宇都宮】
- 茨城交通【水戸】
- 湘南モノレール【鎌倉】
- 佐渡汽船【佐渡】

みちのりグループの
高速バスについて
詳細はこちら



日本酒ハンター が行く! 9 VOL.

Kitajima Kazumasa
北島和将

旅雑誌や情報誌のカメラマンとして10年以上活動。取材で訪れた全国各地で3000銘柄を超える酒に出会い、いつか日本酒に魂をささげよう。2023年に自身の日本酒バー『酒魂』を東京・谷中にオープン。18~23時、月休。☎050-1808-1023



山と川、豊かな自然がもたらす水資源が豊富な栃木県。関東有数の酒どころとして、数ある酒蔵の中でも最古の歴史を誇るのが、1673年(延宝元)創業、佐野市にある『第一酒造』さんです。

この蔵の特徴としてまず挙げられるのが、長い歴史に裏打ちされた技術力。「日本酒造杜氏組合連合会」の一員として栃木県の酒造業界を支える

存在であり、厳しい試験に合格したわずか十数名しかない「下野杜氏」が、1社で3人も所属しています。

さらに、蔵人自ら米作りを行う半農スタイルを、創業時から貫いているのも特徴。確かな技術と、こだわりの酒米、そして豊かな水資源が組み合わせ、ふくよかで洗練された銘酒を生み出しています。

代表銘柄は明治初期の文明



長い歴史と最新技術で生まれる佐野の夏酒

第一酒造

関東自動車「佐野駅」から「佐野新都市循環線(左回り)」約3分の「佐野厄よけ大師」下車、徒歩25分。または、佐野駅から車で約10分。販売は10~12時・13時~16時30分、無休。蔵見学は13時~15時30分(要予約)、土日・祝休(10月中旬~3月中旬は日・祝休、プレミアムコースは無休)。☎0283・22・0001



酒蔵見学は「レギュラーコース」と「プレミアムコース」の2種類を用意(有料)。いずれもスタッフの案内付き。前日までに要予約。

開化に由来する「開華」。中でも夏におすすめなのが、全国で十数件の蔵しか導入していない「遠心分離」を使用した、「開華 遠心分離酒 純米吟醸生酒」です。「遠心分離」とは遠心分離機で高速回転させて、清酒と酒粕を分離させる最新鋭の製法。圧力をかけずに遠心力だけで搾るため、雑味となる余分な成分が押し出されることがないので、華やかな香りと繊細な味わいが実現します。酒本来の香りが守れるので、フルーティーな日本酒



併設売店には日本酒サーバーのほか、麴甘酒や甘酒ソフトクリーム、運が良ければ開華大吟醸も当たる名物の「日本酒ガチャガチャ」も!

を造るのに最適。生酒のフレッシュさも相まって、クリアで爽やかな飲み口が夏にぴったりです。

栃木県内への出荷が約8割と、地元消費がメインなのが第一酒造さんの特徴。酒蔵見学や、利き酒を楽しめる日本酒サーバーが設置された併設売店もあるので、ぜひ現地まで足を運んで、味わってみてください。農業県でもある栃木県。地元でいただく新鮮な夏野菜と夏酒の組み合わせは最高ですよ!

INDEX

04 特集1

絶景!
夏のフラワー
ガーデン

10 特集2

佐渡は、
まるごと舞台だ。
~今も民衆が舞い続ける島~

16 特集3

ツウさんぽ
黒磯リノベーション
さんぽ

22 **新連載**

お得で便利なバスの旅! 福島バス物語

24 高速バスをおりたら

26 **新連載**

郷土を味わう銘菓セレクション

28 ごちそうパレット

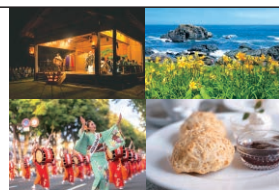
飯坂温泉

35 みちのりイチョウ

夏イベント

38 みみより

NEWS&TOPICS



紹介物件の名称、営業時間、休み、値段の情報は変更が生じる場合があります。年末年始・大型連休については各施設・店舗にお問い合わせください。誌面に表記されている金額は税込みです。

種差海岸 花の渚

〈青森県八戸市〉

三陸復興国立公園の北端に位置し、650種を超える植物が自生するといわれる種差海岸。このエリア特有の自然環境により北限植物と南限植物が隣り合い、波打ち際には高山植物を見ることができ、芽吹きから落葉まで長い期間にわたって草花を楽しむことができるが、6～8月は湿った草地に群生するニッコウキスゲやノハナショウブなどがその花の色を競い合うかのように咲き誇り、一層あでやかに。種差海岸インフォメーションセンターなどにある詳細なパンフレットを手に散策を満喫してみよう。



●種差海岸駅から徒歩3分。種差海岸インフォメーションセンターは9～17時(12～3月は16時まで)、年末年始休。
☎0178-51-8500

絶景！夏の フラワーガーデン



8～9月に見られるハチノヘトウヒレンは貴重な種差の固有種。



7～8月に波打ち際で大きな群落を作るエゾオグルマは種差が南限。

まるで暑い季節を謳歌するように、各地の庭園や自然公園などでは、彩り鮮やかな花々の開花が真っ盛り。郷土ならではの歴史背景や文化、地域固有の珍しい品種など、この時期にしか出合うことができないレアな花畑をお見逃しなく。



空や海の青色とのコントラストが見事な黄色のニッコウキスゲ。



自然や文化、食の魅力など幅広い話題でガイドする。
☎0178-38-2024
(種差観光協会)

種差で生まれ育ち、このエリアの保全活動やトレッキングのガイドを行っている柳沢さん。どの場所にも何の植物が育ち、見頃がいつになるかを把握するために、つぶさに観察を欠かさないといい。「ありのままの草花を見てほしいので、不用意に近づいたり触れたりしないようアドバイスしています」と、ガイド時の留意点を話す。「東山魁夷や草野心平など、種差の景色に感動して名作を残したエピソードを知れば、種差の自然景観がまた違って見えるはずですよ」とも教えてくれた。



この人に聞く
種差観光協会 会長
柳沢 卓美さん

画家や作家を魅了した 種差の美観に心重ねて

一ノ倉邸の中尊寺ハス

(岩手県盛岡市)

明治後期、地元出身の政治家・阿部浩氏によって建てられ、その後、一ノ倉氏へ譲渡。その庭園と建物は1974年に保護庭園に指定され、現在、一般公開されている。庭園の中央にある人工の池で夏に見頃を迎えるのは、奥州藤原氏4代・泰衡の首桶から発見された種に由来する「中尊寺ハス」。東日本大震災の鎮魂と復興を祈り、2012年に株分けされたものだ。



花卉の先がゆるやかなRを描いているのが特徴だそう。



●岩手県北バス「盛岡駅前(東口)」から「沼宮内営業所」「八幡平マウンテンホテル」行きなど約8分の「安倍館」下車、徒歩3分。10～16時・月・火・8月10～20日休。☎019-646-1817



右／例年、7月中旬～8月上旬に開花する中尊寺ハスは早朝が見頃。
左／地元市民によるお茶会やコンサートの会場としても利用されている。



2012年に当時の中尊寺貫首と盛岡市長で執り行われたハスの株の贈呈式。

管理保存委員会の初代会長・西郷和子さんとの出合いをきっかけに、長年、奥様と共に庭園の手入れを続けてきた北岡さん。中尊寺より株分けを受けた後に栽培を担当し、翌年、一輪のハスを咲かせ、「貫首も、奇跡だと驚いていたそうです」と笑顔。特別なことは何もしていないと話すが、水量の管理や施肥だけでなく、毎年欠かさずつぼみと開花を記録しているというから驚きだ。「前九年の合戦と安倍氏ゆかりの地で咲く歴史情緒も楽しんでくれれば」と語る。



この人に聞く
一ノ倉邸管理保存委員会 ボランティア 北岡 実さん

歴史ロマンを物語る 古代ハスの優美な花色



●茨城交通「勝田駅前」から「海浜公園南口」行き約17分の「海浜公園西口」下車、徒歩1分。9時30分～17時(営業時間・休園日は季節により異なる)。入場料450円(季節により異なる)。☎029-265-9001(ひたち公園管理センター)



ヒャクニチソウの和名でも親しまれている開花時期が長いジニア。

国営ひたち海浜公園

(茨城県ひたちなか市)

約237haに及ぶ広大な園内は7つのエリアに分けられ、四季を通じて多彩な花や植物を観賞することができる。「みはらしの里」では、7月下旬～8月上旬に色とりどりのジニアが見頃。さらに8月中旬に差し掛かると、夏の代表的な花であるヒマワリが一斉に花開き、訪れる人の目を楽しませる。



記念写真を撮る人たちに大いにぎわうヒマワリ畑。

アジア最大のテーマパーク型フェスが今年も開催。「音楽と食とアートの祭典」をテーマに、3世代で楽しめる催しが盛りだくさん。人気アーティストも多数出演が決まっている。

●開場8時・開演10時。1日券1万4000円・中高生7000円・小学生以下無料。詳しくはホームページへ<https://luckyfes.com/>

Luckyfes

8月8～11日



西川園長が特に愛情を注いでいるというウツボカズラの一種。



上／シンボルツリーのキハダの大木には、取り囲むように木製デッキが設置されている。

左／徳川斉昭(なりあき)にゆかりの深い「弘道館」創建時の屋根瓦を活用した薬草エリア。

回遊しながら多彩な角度で植物を観察できる、まるで美術館のような観賞大温室。一年を通して熱帯・亜熱帯の花々やバナナなどの果樹を見ることが出来る。

水戸市植物公園

〈茨城県水戸市〉

数々の名建築を手掛けた瀧光夫氏が設計し、1987年に開園した洋風庭園。人工の美と周囲の自然が調和した景観を展開し、広大な園地を散策しながら四季折々の草花をめぐることができる。特に、多品種にわたる熱帯植物を集めた観賞大温室や、熱帯のハーブなどが観察できる熱帯果樹温室は必見。中庭には、色とりどりの花を羽に見立てたゴージャスなクジャクのトビアリーが存在感を放つ。見学だけでなく、イベントや資料の展示、子ども向けの教室なども開催し、世界の植物に親しむ貴重な機会も提供している。



優雅な花の回廊。



●茨城交通「水戸駅(北口)」から「水戸医療センター」行き約30分の「小吹神社前」下車、徒歩15分。9～17時(最終入園16時)、月休(祝日の場合翌日休)・年末年始休。入園料300円。☎029・243・9311

Profile

東京都生まれ。筑波大学で花き園芸専攻を修めた後、民間会社を経て1987年から水戸市植物公園に勤務。1993年には初の女性園長に就任。NHK「趣味の園芸」の講師として長年解説を担当し、ファンを増やす。現在は公益財団法人日本植物園協会の会長も務めている。

「友達みたいなのだから」と、咲いたばかりの花にそっと手を添える西川園長。植物に寄せる愛情の深さは言うまでもないが、専門分野を超えて興味を広げる研究心も旺盛だ。先日、個人蔵書1751点を水戸市に寄贈。その中には、徳川光圀が書かせた医学書『救民妙薬』もあった。「面白いんですね、薬草のヒストリーって」。講演などで各地を飛び回る忙しい日々だが、「花の色や香りは生存戦略によるものだから、園内には気付きがいっぱい。だからこそ、もっと多くの子どもたちに来てほしいですね」と語ってくれた。

未知の植物との出会いで
より学びを深める機会に



この人に聞く

水戸市植物公園
園長
西川 綾子さん

長岡町のキバナコスモス

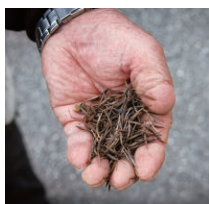
〈栃木県宇都宮市〉



「宇都宮美術館」の南側を豊郷まほろばの道に沿って下った途中、のどかな里山を背景に広がるキバナコスモスの花畑。地元農家の鈴木康夫さんが約3500㎡もの休耕田を利用して丹精に育て上げ、毎年8月下旬から9月中旬にかけて見頃を迎える。ホタルが生息する清らかな美しの川のせせらぎも、この上ない癒やしの時間を与えてくれるだろう。



●関東自動車「宇都宮駅西口」から「帝京大学・宇都宮美術館」行き約30分の「宇都宮美術館」下車、徒歩5分。見学自由。



秋に種を採取して大切に保管し、翌年の初夏にまく。

1997年に「宇都宮美術館」が開館したので絵画と共に、里山の良さを感じてもらおうとキバナコスモス栽培に着手したと話す鈴木さん。「昔ながらの里山の景色を守りたい、これからの時代は環境保全が大事だと考えました」。当初は夫婦で種まきから雑草除去、種の採取を行っていたが、地域住民や鈴木さんのダンスサークル仲間などに共感が広がり、現在は多くの手で支えられている。「この場所にあるからこそその花の美しさを、ぜひ確かめてほしいですね」と話してくれた。



この人に聞く

農業・コスモス栽培家

鈴木 康夫さん

郷愁を誘う里山に咲く
桃源郷のような花畑

黒羽城址公園

〈栃木県大田原市〉

1576年(天正4)に大関高増(たかます)が築城し、北那須最大の規模を誇った黒羽城。その城跡が保存整備され、自然豊かな城址公園として市民に親しまれている。4月には桜、6月下旬～7月上旬には6000株のアジサイが咲き誇り、たくさんの方を迎える。6月下旬から開催される「あじさいまつり」では、週末にイベントが開催され、大いに盛況を見せる。



本丸跡の展望台を背景に色とりどりのアジサイが見物客を魅了。



まつり期間中の「アンブレラ(雨傘)スカイ」は絶好のフォトスポット。



「あじさい橋」の眺めも格別。



●関東自動車「西那須野駅東口」から「五峰の湯」行き約45分の「大雄寺入口」下車、徒歩15分。見学自由。☎0287・54・1110(大田原市観光協会)

江の島サミュエル・コッキング苑

(神奈川県藤沢市)

横浜外国人居留地に在住したイギリス出身の貿易商、サミュエル・コッキング氏が1882年に造成した和洋折衷の庭園跡。総面積1万㎡を超える敷地に、園路や花壇、築山、池、巨大な温室を備える。苑内では南洋原産の植物や四季折々の草花が栽培されており、夏は茶花として親しまれているムクゲなどが盛りを迎え、一層華やさを増す。



●湘南モノレール湘南江の島駅から徒歩26分。9～20時(最終入場19時30分)、無休。入場無料(イベント時の17時以降は500円)。☎0466・23・2444(江ノ島遊園事業所)



江の島シーキャンドルをシンボルにきれいな花々が咲き誇る庭園美が見事。



140年ほど前に造られた温室の基礎や地下通路も見学可能。

夜間、ライトアップされた園路は神秘的な雰囲気に。



伊佐須美神社あやめ苑

(福島県会津美里町)

伊佐須美神社の外苑にある回遊式庭園で、6月中旬～7月上旬に会津美里町のオリジナル品種「高田錦」といった国内外200種を超えるハナショウブやアヤメ、カキツバタが開花。6月上旬～下旬には「あやめ祭り」も開催され、あやめ流し踊りや野点(のだて)茶会といった多彩な催しが行われる。



●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「永井野」行き約50分の「横町」下車、徒歩3分。見学自由。☎0242・56・4882(会津美里町観光協会)

会津発祥の由緒を伝える岩代国一之宮・会津の総鎮守。



上品な紫の花色が風雅な光景を生み出しているあやめ苑。

たくさんのバラがあしらわれたハート型のアーチは特に人気。



佐藤梨園のローズガーデン

(福島県福島市)

『佐藤梨園』の庭先や周囲で、バラとダリアの庭園を一般開放。800種類以上3000株以上のバラは見応え十分で、5月下旬～6月中旬、8月下旬～10月下旬の2回見頃を迎える。さらに8月下旬から幸水や豊水など6品種のナシを販売する直売場もオープンし、新鮮で甘いナシを求めて大いにぎわう。



●福島交通「福島駅東口」から「志田」または「由添田地経由庭坂」行き約14～24分の「笹木野原」下車、徒歩9分。見学自由。☎024・591・1661

秋咲きのバラはしっかりと上品な色合いが特徴。



SPECIAL INTERVIEW-01

民衆が守り継ぐ能の島
原風景は今も佐渡に

佐渡では、4月の島開きから秋になるまで、島のあちこちで祭りがあり、神社に設けられた能舞台で能が催される。舞うのは市井の人々。佐渡に通い、指導を続ける能楽師・金井雄資さんに話を聞いた。

「民衆能がこれほど熱心に行われている土地はほかにありません」

開口一番、金井さんはそう言い切る。佐渡と深く関わるようになったのは、2017年。民衆能を支えてきた本間英孝さんが亡くなり、親交の深かった父の縁もあり、請われて指導をすることになった。

「初めて佐渡を訪れたのは12歳の頃です。父に連れられて見た能の舞台に『なんておもしろいんだろ』と驚きました。厳しい修練を積みプロの世界とは対照的に、楽しみながら舞う人々がいました。観客も酒を手に、芝居見物のように味わっていたのですから」

佐渡では、今も各地の神社で能が行われる。多くは神に捧げる神事として続いてきたものだ。その営みこそが、400年にわたって能を継いできた原動力である。

島の能の魅力は、かがり火の明かりで舞う「新能」のような舞台環

佐渡は、

まるごと

舞台だ。

今も民衆が 舞い続ける島

能や鬼太鼓など、
多彩な芸能が息づく佐渡。
島では、特別な誰かではなく、
そこに暮らす人々自身が舞い、
奏で、受け継いできた。
なぜ、これほどまでに
芸能が生き続けているのか。
担い手たちの声を通して、
その理由と魅力に迫る。

取材：文 沼由美子 撮影：オカダタカオ



朝日が描かれる 大膳神社

のどかな田園に鎮座する神社には、現存する佐渡最古と言われる茅葺きの能舞台があり、正面奥の鏡板に描かれた日輪と実際の朝日が重なる全国でも珍しい構造を持つ。神へ奉納する芸能の場として、今も薪能が受け継がれている。●両津港から車で約30分、小木港から車で約40分。拝観自由。
☎0259・55・2953



ご自身の衣装を貸し出し、着付けをはじめ、楽屋仕事の指導する金井さん。リアルな舞台があるからこそその貴重な実践の場だ。

『椎崎諏訪神社』で催される「天領佐渡両津薪能」の様子。運営協力金2000円～を支払えば、旅行者でも予約なしで幻想的な能を楽しめる。

お話をしてくださった方

能楽師（宝生流シテ方）
金井雄資さん

重要無形文化財保持者。公益社団法人能楽協会の運営にも携わる。佐渡の薪能の指導・監修を担い、地域に根差した能の継承に力を注いでいる。

境にもある。火に照らされる能面や装束、松に囲まれた舞台、風や月の気配。自然の中で演じられる能は、かつての能の姿そのものだ。「都市の舞台では得がたい静けさと没入感があります。本来の能の原風景が佐渡には残っています」

島の能舞台の多くは神社の本殿に向かって設えられてあり、神に奉納する芸能であったことを示す。大膳神社の舞台には、全国でも珍しい日輪が描かれ、実際に朝日の光と日輪が重なるという。こうした細部にも、祈りとともに育まれてきた歴史が刻まれている。

金井さんは毎月、新潟市内で稽古を行い、薪能の時期には装束や能面を携えて島に渡る。楽屋での準備や所作に至るまで丁寧に指導するのは、「見てくださる方に納得していただくため」。高い質を保つ重要性を強調する。距離を越えて指導を続ける理由は明確だ。「これほど能を大切にし、愉しみながら守ってきた土地はない」。その思いが金井さんを佐渡へと向かわせる。

「ぜひ自分でもやってほしい」とも語る。島の小中学校で謡の授業が行われ、プロの道へ進んだ人も、島の文化を今に伝えている。



旬の食材を活かす料理と十割そばを提供。●両津港から車で約11分、小木港から車で約55分。11時30分～13時30分LO・17～21時LO、日休。完全予約制(前日昼までに要予約)。☎0259・67・7972



お話をしてくださった方
 『蕎麦 茂左衛門』オカミ
 齋藤佳子さん

東京で出版社勤務を経て、2014年に夫・和郎さんの故郷の佐渡へ移住。夫婦でそば店を営む。島ならではの食材や文化を、暮らしと仕事に活かしている。

義祖母の「謡本」が今の私の教科書です

佐渡に移住して数年後、息子の中学校での能の授業をきっかけに、齋藤さんは能の世界へ足を踏み入れた。2020年には島内で能舞台を開催する能の会に入会。月に三度の稽古に通い、日々の仕事の合間や愛犬の散歩をしながら、謡の自主練習を重ねている。

島内で年に5回行われる、天領薪能の舞台では、楽屋での着付けや幕の準備など裏方として支え、自身も謡をはじめ、後見にも挑戦して表方にもなる。

裏方も表方もやる。島の能を維持する一人でありたい

2020年、信田さんは知人の誘いで島の能の会に入り、稽古を始めた。笛や小鼓も習い深く多角的に能の世界に関心を寄せている。「極めてシンプルな舞台で物語を展開する能は、お囃子(はやし)がうまく場面を切り取り、立体感を生み出します。まさに舞台上でつくり上げていく気迫に強い魅力を感じます」

今では裏方も表方も担い、通年、何かしらの舞台を控える日々だ。続ける原動力は「もっと知りたい、うまくなりたい」という思い。忙しい日常の中でも「5分だけでも楽器に触れる」「謡本を開く」と決めている。一方で、能に関わるほどに、継承の難しさも知った。「長くナチュラルワインに関わって、最近、バイオニアたちの精神性の継承を危惧しています。佐渡の演能文化も、関心の薄れによる担い手不足や難しさを感じています」

維持には、既存のグループや集落を越えた「島の演能活動」の継続が必要だ。信田さんは「能を維持する一人でありたい」と考えている。



「東京では、装束に触ることすら難しく、舞台に立つことなんてとんでもないこと。でも佐渡では、少ない人数で携わっていて、先生から『やってみなさい』と、多分なチャンスをもらえます。生活の延長線上に能があるのです」

愛用する謡本(能の上演用の教本)は、夫の祖母が遺したもの。「始めるタイミングで手元に現れた謡本に、縁の不思議を感じます」。義祖母から託されたバトンを胸に、今日も次の舞台の稽古に励む。

お話をしてくださった方

『La Barque de Dionysos』店主
 信田聡美さん

フルート奏者としてパリで活動。その後、佐渡に移住し、2014年にナチュラルワインと仏家庭料理の店を開く。ワインの思想と佐渡の風土をつないでいる。





今春、佐渡で能のイベント「飛天双〇能」を開催した能楽師・大倉正之助さん。農作への感謝を捧げる舞台を通じ、江戸の知恵と現代技術を融合した「佐渡スタンダード」を提唱。伝統から描く、日本の未来の再構築の姿に迫る。

佐渡では、古くから棚田が造られ、美しい風景を見せる。一度は絶滅した野生のトキを復活すべく、島全体で環境保全に取り組む。

お話をしてくださった方

能楽師（能楽囃子大倉流大鼓方）
大倉正之助さん

能楽囃子大倉流（大、小）鼓の家に生まれ、一時は自然農法の農園暮らしを経て現在は能楽囃子大鼓奏者として能楽舞台はもとよりさまざまな舞台で大鼓独奏という独自の方法も確立する。



飛天双〇能

大倉さんが主宰する、能楽本来の姿を毎年求めて衣食住全てのもの作りとの関係を深め、日本の姿形をよみがえらせる12年を一周期とする能会、今年4月の佐渡での開催時は、農と能の関係性を再構築するため、全国から能楽師128名が集い島内で能を奏上した。



佐渡の「農」と「能」から日本の未来の再構築を描く

大倉さんにとって、佐渡は自らのルーツとも関わる特別な地だ。江戸時代に金山奉行として佐渡を

治めていた大久保長安は、大倉氏の家系に連なる人物。当時は幕府の公式芸能であった能を「庶民の楽しみ」として根付かせ、浸透させたのが、まさに長安だった。

「背景には、聖徳太子が体現した精神があります。権威の中の『まつりごと』だった能を、誰もが演じられるものとして、民衆の心に広く普及させたのです」

歴史的土壌を礎に、大倉さんは、新しい目線の能プロジェクトを力強く推進する。4回目を迎える今回、佐渡が選ばれたのは、鳥が誇る「農」と「能」の深い関わりだ。

「土を耕して命を育む『農』と、精神を研ぎ澄まし祈りを捧げる『能』。この二つの営みが共鳴する佐渡の姿は、混迷する現代社会において、日本の未来を再構築できる可能性にあふれているのです」

この先も続く大倉さんの挑戦は、佐渡の豊かな文化資源を再発見させ、真に豊かな生き方を示そうとしている。



新穂の『日吉神社』で行われる山王祭の鬼太鼓。島内でも最大規模の祭りで、鬼に獅子が絡んで舞うのが特徴。新潟県無形民俗文化財にも指定されている。

「佐渡では鬼は悪者ではなく、邪気を払うヒーローです。足の悪いお年寄りも縁側でニコニコと到着を待っている。鬼はみんなの想いが形になったものだと感じます」

「祭りが終わると、次は田植えだ。春祭りが終わると、次は田植えだ。祭りが暮らしの一部となり、一年の巡りを実感します。鬼太鼓のために、また一年がんばれます」

鬼はみんなの想いが形になった「ヒーロー」です

佐渡に伝わる「鬼太鼓」は、鬼の面を付けた舞い手が笛や太鼓に合わせて舞い、家々を門付けして回る伝統芸能だ。平間さんは、佐渡を拠点とする太鼓芸能集団「鼓童文化財団研修所」の研修生の頃から、鬼太鼓の笛や太鼓などで関わるようになった。

鬼太鼓は集落で型が違い、その種類は120以上になる。それは、同じ数以上の神社があることを表す。「金山の栄華と、信仰の深さに圧倒されます」と平間さんは言う。祭りの日は朝から晩まで太鼓が響き、クライマックスの宮入りの「駆け引き」では、祭りを終わらせたくない熱狂が続く。

お話をしてくださった方
『さどやニッポン』スタッフ
平間 京さん

新潟市出身。太鼓芸能集団「鼓童」研修所に入るため佐渡を訪れ、地域文化や農業を学ぶ。現在は、島の伝統芸能を継承・発信する『さどやニッポン』講師。



『さどやニッポン』併設の『まつり茶屋御縁』では、佐渡産の上質な米で握るおにぎりや、米粉を活かした団子を販売。●両津港から車で約15分、小木港から車で約45分。12～16時、不定休。
☎0259・58・7337





お話をしてくださった方

『たたこ館』講師
米谷友宏さん
(よねちゃん)

7歳から太鼓を始め、鼓童文化財団研修生として太鼓、笛、唄、踊りなどを学び、2017年より現職。明るく親しみやすい人柄で子どもたちから大人気！



開放的な空間で、米谷さんの真似をしながら、太鼓の魅力にはまれる。●両津港から車で約1時間5分、小木港から車で約13分。9～17時、月休(祝日の場合翌日休)。体験は要予約。当日の場合は電話を。☎0259・86・2320

自己肯定感につながる音と響きを全身で味わって

佐渡において太鼓は、鬼太鼓などを通じて接することの多い身近な楽器だ。米谷さんは、「鼓童文化財団研修所」の研修や祭りの参加を経て、多様な太鼓の現場に関わってきた。

「五穀豊穡の願いから生まれた芸能が、佐渡では当たり前の暮らしの中にあります。稀有な土地です」と米谷さんは語る。

『たたこ館』は「鼓童」が運営し、天候を問わず鼓童のプログラムを体験できる施設だ。曲の演奏

というより、ゲーム感覚で「太鼓で遊ぶ」ことを重視している。

「太鼓は、誰にでも開かれた楽器です。ドーンと叩くだけで心が放たれ、自己肯定感にもつながります。老若男女、障がいの有無や言語の違いも関係なく、一緒に音と響きを共有できます」

館内では、樹齢約600年のケヤキで作った巨大な原木太鼓を叩くこともできる。米谷さんは、今日もDNAに訴えかけるプリミティブな太鼓で楽しさを伝える。



【ACCESS】佐渡へは佐渡汽船「新潟～両津航路」と「直江津～小木航路」が運航。自転車を持ち込んで乗船も可能。詳しくは佐渡汽船のホームページを確認を。<https://www.sadokisen.co.jp/>

国内外のアーティストが集合！佐渡の自然に魂が共鳴する祭典 アース・セレブレーション

8月
21～23日
開催



「鼓童」と佐渡市が共同で主催し、今年39回目を迎える国際芸術祭。3日間にわたって、小木地区の豊かな自然を舞台に行われる。メインイベントである野外コンサートでは、モンゴルの伝統音楽グループや三宅島芸能同志会とのコラボ演奏を予定。太鼓体験や楽器、踊りなどのワークショップやフリンジと呼ばれる無料のパフォーマンスも要チェック！

●メイン会場的小木みなと公園まで小木港から徒歩2分、両津港から車で約1時間。
☎0259・81・4100(アース・セレブレーション実行委員会)<https://www.earthcelebration.jp/>



全国の
リノベーションブームの
先駆けとなったと
いわれるカフェ
『1988 CAFE SHOZO』



古きを愛し、今をつくる。

黒磯

リノベーション
さんぽ



『1988 CAFE SHOZO』
オーナーの
菊地省三さん。
お店の裏の焙煎所で
豆を挽いている

明治時代の鉄道開通を機に
発展してきた黒磯には、
古くなった建築物を生かした
『リノベーション』の風景が
日常に息づいている。
一軒のカフェから始まったその文化は、
重厚な石造りの旧銀行や
木造の古い家具店を、
ここで生きる人々の集う場所へと変えてきた。
かつての建物の梁が歴史を感じさせ、
当時のままのガラス戸から差し込む光が
旅人たちを包み込む。
この夏、街に新たな命が宿る黒磯で、
心地良いさんぽに出掛けよう。

杉並木の
先に見えるのは、
外交官・青木周蔵の別邸。
明治・大正時代の
別荘での暮らしを
想像させてくれる



シンプルだけど
自分らしい、
心地良いを体現する
洋服たちに
出会う



ここを拠点に街を
歩きたい、
ゲストハウスを
兼ね備えた
心落ち着く場所だ



40年以上愛される
看板メニュー。
ルーツは
「まかない」だった!

KUROISO

“リノベーションの街”原点のカフェ 1988 CAFE SHOZO

現在の黒磯のリノベーション文化の源流となったカフェ。古いアパートを改装した店内は、一見するとバラバラな使い込まれた家具も丁寧に手入れされ、美しく配置されている。ここ数年は焙煎に力を入れており、冷めてからでもおいしい苦みのある深煎りを実践している。

●関東自動車「黒磯駅西口」から「板室温泉」行き約2分の「百村通り3丁目」下車、徒歩1分。11～18時L.O、第1木休。☎0287・63・9833

右ノコーヒーは、濃くしっかりとした苦みがあるのでスイーツとセットにするのがおすすめ。森のブランドG2 680円、チーズケーキ550円。下ノ「家具も適当に置いたらガラタですが、どうしたら気持ち良くなるかを考えています」と省三さん。



Before
古アパート
↓
カフェ
After



強い味わいなのに、後味は水を飲んだ時のようにきれいに消える。そんな本当においしいコーヒーを目指して、焙煎しています



上ノ1階部分は「TASTE」と呼ばれるテイクアウトや焼き菓子の販売コーナー。人気のスコーンはここでも買える。左ノスコーンセット1400円。外側はサクッと、内側はふわっと軽い口当たりで、柔らかな甘みが口に広がる。



黒磯は那須連山の麓に位置し、那須高原の玄関口となるエリアだ。近年、おしゃれなカフェやパン店、雑貨店などで街がにぎわう。そういった店の多くが、かつて別の用途で利用されていた建物をリノベーションし、新たに命を吹き込んだ物件で営まれている。黒磯が「リノベーションの街」に生まれ変わる、その最初の一步を踏み出したのが『1988 CAFE SHOZO』のオーナーである、菊地省三さんだ。

省三さんは黒磯出身。「27歳までに自分の店を持つことを目標に、バイクで旅をしながらコーヒーの勉強をしていました。理想ばかりを膨らませていたら28歳の誕生日が目前に。時間の余裕がない中、地元をうろろしている時に、この場所が気になったんです。偶然見つけたその場所は、古いアパートの2階。建物の雰囲気の良いところを残しながら、カフェとして空間を生まれ変わらせた。札幌でコーヒーを学んだ際に出合った「斎藤珈琲」の焙煎豆を使ったコーヒーを提供し、その背中を追い続けながら自らも焙煎に邁進している。旅の目的地になるようなお店を作りたいという思いは、いつしか旅人が歩く街をつくりたいという思いに広がってゆく。「生懸命やったら、いいカフェができた。でも旅人がこ

新たに
店主になりました
人見です。
気軽に遊びに
来てください!



Before
焼き肉店
↓
アパレル
ショップ
After

お気に入りに出会える
普段着のお店

hitomi O4 store

生活に豊かな気持ちを見つけてほしいと
願い、シンプルで飽きがこないセレクト
が特徴。老若男女問わず長く愛用できる
スタンダードなアイテムを見つけられる。
不定期で全国から作家さんを集めて展示
会を開いたり、つながりのあるブランド
のポップアップショップを開催したりす
ることもあり、訪れるたびに新たな出合
いができる。

●関東自動車「黒磯駅西口」から「板室温泉」
行き約2分の「百村通り3丁目」下車、徒歩1分。
11～17時(月に数回～15時)、木休。☎070-
1319-7449



上/階段を上って2階がお店。昔、
この場所は地元で人気の焼き肉店だっ
たそう。左/シンプルながらシルエッ
トが美しい商品が数多く並び。

訪れる全ての人に開かれた拠点

Chus

作り手の顔が見えることを重視してセレクトされ
た食品や調味料が集まる販売所「MARCHE」、地
元の食材をふんだんに使った定食が食べられる
「TABLE」、そして宿泊施設「YADO」の3つの要
素からなる複合施設。

●関東自動車「黒磯駅西口」から「板室温泉」行き約2分の
「百村通り3丁目」下車、徒歩1分。MARCHEは10～17時
(土・日・祝は～20時)・TABLEのランチは11時30分～15
時LO(カフェは～17時、土・日限定のディナーは18時～
19時30分LO)、第2木休(不定休あり)。☎0287・74・5156

ここは那須の
大きな食卓という
コンセプトがあります。
旅人も地元の方も
みんなが集まって
つながる場所になればと
思っています



左/1階はMARCHE
とTABLE、2階以上
はYADOになっている。
右/一番広い客室
は家族連れに人気
で、またこの部屋に
泊まりたいというリ
クエストも多い。



Before
家具店
↓
複合施設
After

那須鶏のからあげ定食1540円。甘いタレでご飯がすすむ!



だから歩いてもらえるような「通り」
を作ることになりました」。

その一つが「O4 STORE」。シ
ンプルで飽きのこない心地良いアイテ
ムをそろえるアパレルショップで、今
年3月から新たに店主となった人見進
一さんは18年間省三さんの元で働い
てきた。「省三さんは僕にとって第2
の父のような存在なんです」。取材時、
お店はリニューアルし店名が「hit
omi O4 store」となったばか
り。培ってきたいいところを残しなが
ら、これからは自分の色も付けていき
たいと話すが人見さんの目は輝いてい
た。そのすぐ近くに、旅人の拠点となる
場所「Chus」がある。名前の由来
は黒磯の北西部にある茶臼岳。マル
シェ・ご飯処・宿の3つの機能を兼ね
備えた施設であり、癒やしを求め都心
からプチ旅行で訪れる人が多い。定食
のメインのおかずのみならず、ご飯は
那須の農家で育ったお米、お味噌汁も
那須で作られた味噌を使っている。店
主の村上将太郎さんは黒磯のゆつたり
した時間の流れ方に魅せられ、東京か
ら移住してきたそう。「食堂の吹き抜
けから入る太陽の光を浴びながら、宿
泊のお客様を迎える気持ちいい朝の時
間が大好きなんです」と話してくれた。
もっと前の時代から黒磯の変化を
約40年間見守り続けてきたのが「カ

HISTORY

那須の森の中に佇む美しく気品のある洋館

旧青木家那須別邸

明治時代にドイツ公使や外務大臣、アメリカ大使などを歴任した子爵・青木周蔵の別荘。昭和40年代以降使われておらず、老朽化が進んでいたが建物の価値を後世に残したいと調査が進み、大規模な解体・復原工事が行われた。館内は見学可能で、かつての華族がどのように過ごしていたかを想像しながら過ごせる。夏になると館に向かって右側の庭園にひまわり畑が現れ、季節の花々を楽しむこともできる。

●関東自動車「黒磯駅西口」から「板室温泉」行き約14分の「青木別荘前」下車、徒歩5分。4～9月は9時～17時30分（10～3月は9時～16時30分）、第3火休（祝日の場合は翌日休）。観覧料大人200円・小中学生100円。☎0287・63・0399



右/周蔵は黒磯駅からこの別邸まで、板室街道をこの馬車で移動していた。一部の部品を除き、ほとんどが木造だ。中央/周蔵はドイツから贈られた鹿を繁殖させ、狩りを楽しんでいたそう。左/半円形の飾り窓は周蔵のこだわりで、この窓を付けるために天井の形を変形したとされる。



上/1916年に建築された建物は、国指定の登録有形文化財。左/暖かい日差しが差し込む窓には、かつて二重になっていた枠が残る。右/「グランボワライス」1250円。地元の野菜とひき肉を和風のあんかけソースに絡める。



ゆっくりとお食事を
楽しみにいらして
ください

大正建築の中で
落ち着いたひとときを

カフェ・ド・グランボワ

旧黒磯銀行本店の建物を生かして営まれるレストラン。店内で楽しめるのは、自家製の味付けソースやセットサラダにかかるドレッシングなど、細部までこだわった洋食メニュー。名物「グランボワライス」は実はまかないから生まれた料理で、常連さんにも出すようになったところ人気が出たそう。40年以上通っている方もいるという、地元の常連さんにも愛されるお店。

●黒磯駅から徒歩2分。11時～14時30分LO・18～20時LO、火と隔週月休。
☎0287・64・2330

「フェ・ド・グランボワ」を営む佐藤正美さん妙子さん夫妻だ。「すてきなお店が増えて、歩いている人も増えて、私たちがもううれしいんですよ」とほほ笑む。人気のオリジナルメニューであるグランボワライスは、シソの香りとバターの良い甘みの中にも広がる。青木周蔵が晩年に過ごした『旧青木家那須別邸』はこの地域一帯が開拓された時代の建築物だ。展示資料で那須の歴史を知りながら、その暮らしぶりを想像することができる。リノベの風景を楽しみながら、爽やかな風吹く黒磯を歩いてみては。



【福島バス物語とは】

福島県内の路線バスや高速バス・飯坂線と協力施設の入館券や割引券などがセットになったお得なセット乗車券。通常の路線バスや高速バス・飯坂線、福島県内の各施設をお得に利用できるセット券も用意している。

お得で便利な
バスの旅♪

福島バス物語

郡山市立美術館パック

大人600円、子ども300円

郡山駅前
から出発



建築美にも感動する アートな日帰り旅



都市部からバスで10分ほどの近場であり、静かな憩いの空間で癒やしのひとときを過ごせますよ！

福島交通株式会社
乗合営業部 乗合営業課
千葉 良彦さん



上／緑豊かな立地にあり、バリー・フラナガンの『野兎と鐘』の像が目を引き前庭。右／郡山駅前バス乗り場5番から出発。スマホで事前に購入しておけばスムーズ。左／郡山駅北口からまっすぐのびる美術館通りは沿道の並木が美しい。

豊かな緑を肌で感じながら 名画の数々をゆったり鑑賞

郡山駅前から出発して阿武隈川を渡る、木漏れ日が降り注ぐ坂道。その途中でバスを降りた先に、豊かな森に囲まれた『郡山市立美術館』がある。著名な建築家・柳澤孝彦氏が設計を手掛け、館内は非日常的な空間が広がっている。常設展示室では、ターナーやバイン・ジョーンズらイギリス近代美術の作品をはじめ、日本の近代美術や郡山ゆかりの美術・工芸などを展示。誰もが時間を忘れ、作品世界に没頭してしまうだろう。なお、このパックは観覧料割引券付きだ。

この美術館でのもう一つの楽しみが、併設するカフェでの食のもてなし。大きく張り出した窓から美術館前庭を眺めながら、旬の食材にこだわったパスタやパンケーキなどを味わうことができる。ランチタイムにはデザート無料券を利用したい。

福島の魅力バスを巡る「福島バス物語」が、より使いやすいくパワーアップ。PCやスマートフォンで簡単に予約ができる1日コースから短時間コースまで多彩に用意している。福島交通の千葉さんは「ちょっとした空き時間や出張の合間に最適なメニューを取りそろえていますので、ぜひ気軽に利用してみてください」とすすめてくれた。

世界の名画に感動したら 旬の味覚でお腹を満たす

郡山市街から遠く安達太良山までを一望できる
深緑きらめく丘陵地に立地するミュージアムで
国内外の優れたアートの数々に触れて
心が満たされるような特別な時間をゆったりと過ごそう。
建築美を眺めながら過ごせるカフェも訪ね
ランチタイムでひんやりデザートの至福も味わって。



上/4室で構成される常設展示室には、それぞれイギリスの美術、日本の近代美術、郡山市ゆかりの美術、本(版)や工芸が展示されている。左/美術に関する国内外の雑誌や専門書、画集などが自由に閲覧できる1階の図書室。



上/美術館の前庭を大きな窓から望みながら、季節感あふれる食事メニューやスイーツが味わえる「juju 130 CAFE」(11~17時・月休、祝日の場合翌日休)。左/デザート無料券を提示で「週替わりワンプレートごはん」や「季節限定パスタ」などの食事メニューを注文の際、アイスクリーム(350円相当)をサービス。

例えばこんなSchedule

10:15発 郡山駅前

↓ 路線バス

10:23着 郡山市美術館

↓ 徒歩

10:30~15:10

●郡山市立美術館観覧料割引券

●美術館内カフェ・レストラン

「juju 130 CAFE」デザート無料券

↓ 徒歩

15:23発 郡山市美術館

↓ 路線バス

15:38着 郡山駅前

※上記コース時間は一例。どのダイヤでも利用できるため、午後からの利用も可能。

6月21日までの限定

北斎・広重 大浮世絵展見学パック

郡山駅前~郡山市立美術館の往復乗車券と郡山市立美術館の観覧料割引券、特設ショップ200円券がセット。二大浮世絵師、葛飾北斎と歌川広重の名作約230点をたっぷり鑑賞するのに便利でお得な期間限定パックだ。

特設ショップ
200円割引券付き

※観覧料割引券提示により団体料金で観覧可能(料金は美術館受付で支払い)。
※200円券は特設ショップで1000円以上買い物した1予約・1組ごとに割引適用。



この美術館限定グッズもズラリ。

●お問い合わせは

☎024・597・7950

(月~金9~17時 ※祝日を除く)

●お申し込みは

WEBサイトから



トップ画像イメージ

予約・決済はスマホでラクラク

今年4月にリニューアルを行い、チケットをデジタル化。販売窓口まで足を運ばなくても手元で気軽に予約、決済ができるようになった。スマホアプリをダウンロードすれば、よりスムーズに購入が可能だ。



高速バスをおりたら

その2 岩手県北バス「東京八重洲⇄盛岡駅西口」

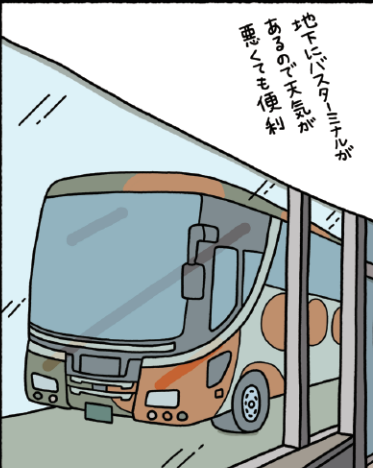
八重洲の地下下はぎやかだな



作:キタ大介

東京八重洲から「MEX宮古・盛岡」で盛岡に向かう旅

地下バスターミナルにあるバスが乗っても便利



座席は3列でカーテンで仕切られる



翌朝 盛岡駅西口に到着



まだ5時だ

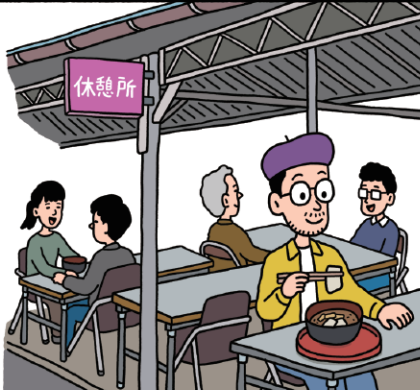
路線バスに乗り換えて約15分の「茶畑公園」で降りて『盛岡神子田朝市』に向かう



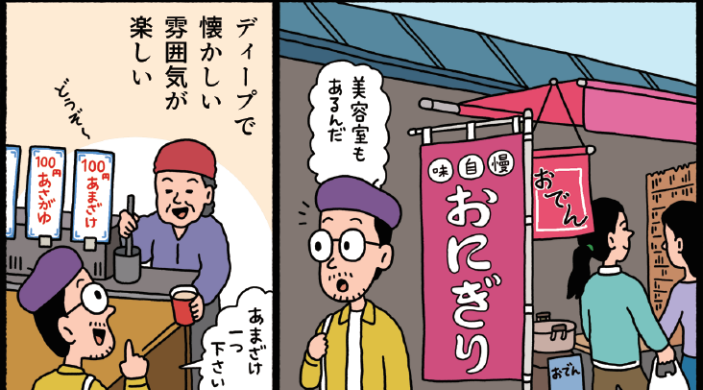
今朝でもお容赦ください



ここで人気のひつつみ



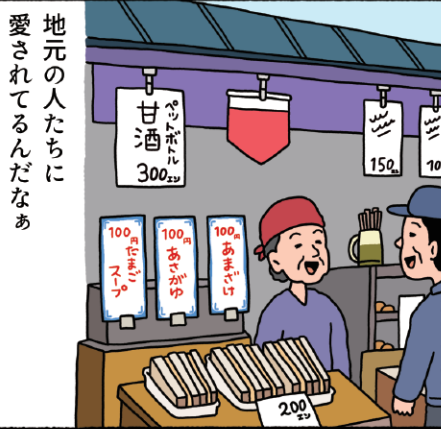
ひつつみはもちもちツルツル つゆはなんだか懐かしい味



デイープで懐かしい雰囲気が楽しい

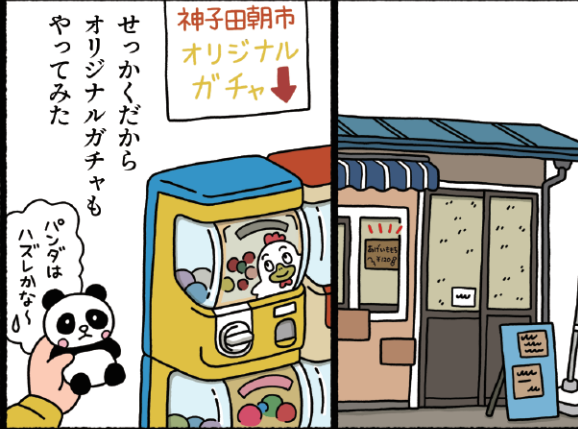
美容室もあつた

あまぎけ 一っ下さい



地元の人たちに愛されてるんだなあ

「あげいもち」が気になったけど 人気で売り切れだった

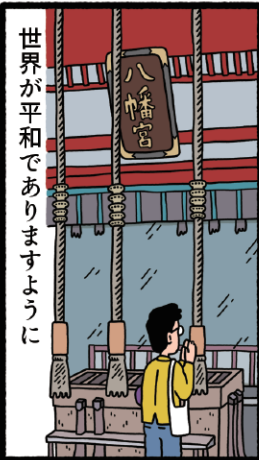


神子田朝市 オリジナルガチャ ↓

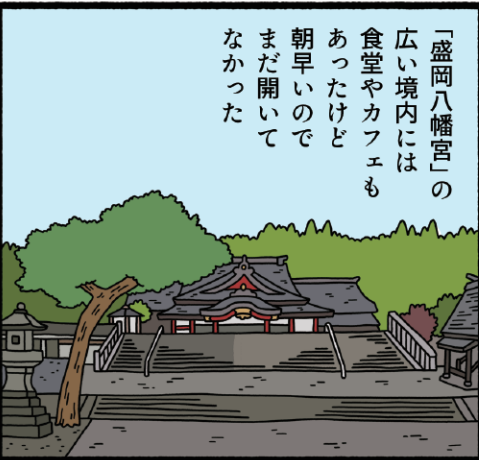
せっかくだから オリジナルガチャもやってみた

パンダはハズレかな

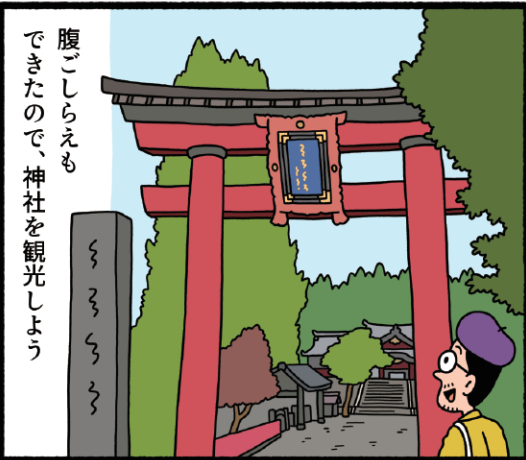
「バスターミナル東京八重洲」から「盛岡駅西口」へは岩手県北バス「MEX宮古・盛岡」で約7時間35分。1日1往復運行。



世界が平和でありますように



「盛岡八幡宮」の
広い境内には
食堂やカフェも
あったけど
朝早いので
まだ開いて
なかった



腹ごしらえも
できたので、神社を観光しよう



この
釜では蒸気で
お米を蒸します
手廻り工程で
できたお酒は
みずみずしく
なります



1871年から
酒造りをやっていた
この近くに移っている
大慈清水で
使っています



事前に予約した9時から
やっている『あさ開』の
酒蔵見学ツアーへ

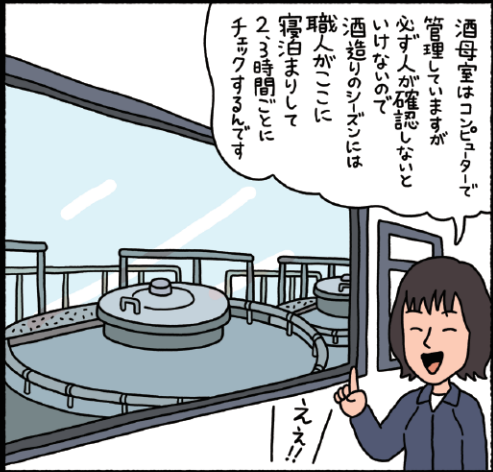


生原酒は
ここでしか
買えないし
飲み比べもして
味の違いも
分かるよ
買うしかない



最後の
楽しみに
していた
試飲

百鬼夜行
の日は原酒は
スッキリしていて
冷やしてお料理と
一緒に飲むのが
おすすめです



酒母室はコンピューターで
管理していますが
必ず人が確認しないと
いけないので
酒造りのシフトには
職人がここに
寝泊まりして
2.3時間ごとに
チェックする必要があります

ええ!!



MAP

盛岡駅
盛岡八幡宮
あさ開
大慈清水
盛岡 神子田朝市
茶畑公園



酒造りに
使っている
湧き水も
おいしかった



火入れをしていない
純米大吟醸の
「生原酒」はひと口目の香りに
インパクトがある
半年に一回くらい
中身のお酒が替わるので
時期によって
違う味を楽しめる

盛岡神子田朝市 ● 5~8時(土・日・祝は8時30分まで)、月休(祝日の場合営業)。☎019-652-1721

盛岡八幡宮 ● 境内参拝自由(社務所は9~17時)、無休。☎019-652-5211 あさ開 ● 9~18時、酒蔵見学9~16時(最終受付15時30分まで)、不定休。☎019-624-7200



玉羊羹 10個入り箱1512円

ゴム風船の口をしっかりつまみ、片一方からつまようじなど尖った先で刺して剥いて味わう。戦時中、材料確保が困難となり廃業状態だったが、終戦後にアズキの統制が解除されて生産を再開したというドラマチックなエピソードも持つ。

福島県二本松市

伝統や風土に根差して味と技を継承し、郷土の人々に長く親しまれてきた銘菓。今回は、二本松市の「玉羊羹」。かわいらしい見た目と素朴な味わいが心を和ませてくれる。

御菓子師 玉嶋屋の
玉羊羹

小豆色のゴム風船をつまようじで刺すと、瞬間に膨らむという不思議な小気味のよさ。1937年に福島県知事と軍の依頼で、ようかんを柔らかいまま戦地に届けるためこのユニークな封入方法が開発されたという。当時は「日の丸羊羹」の名で販売されていたが、戦後の再開業の折に改められ、現在の「玉羊羹」となった。その見た目の面白さはもちろん、食べやすいサイズと昔ながらの素朴な味わいも相まってロングセラーを続けている。

創業は江戸時代にさかのぼる。二本松藩主・丹羽氏が將軍家への献上品として用いた看板商品「本煉羊羹」は、表面が薄い砂糖の衣で包まれているのが特徴で、シャリシャリとした歯ざわりとねっとりなめらかな味わいが楽しめる。材料の配合や製法は代々当主に受け継がれ、ようかんの練り工程には、現在もナラのまきを使用。「まき釜の強い火力と炭の遠赤外線効果に代わるものはなく、これこそがおいしさの決め手になっていると考えています」と9代目を継ぐ専務取締役の和田明久さん。変わらぬ味を求めて古くからの客が集う老舗だが、「この店に伝わる製法を大事に守り伝えていきながら、お客さまが長く愛してくださいようかんの味をベースに、より多くの方に口にしてもらえような、新しい商品づくりに挑戦したいですね」と、次世代を担う明久さんは意気込み十分だ。



●二本松駅から徒歩5分。
7時45分～18時、不定休。
☎0243-23-2121 ※福島県観光物産館「コラッセふくしま」ほか福島県内のスーパー、小売店などで販売。オンラインショップ(<https://tamasimayashop.com/>)



風情ある
城下町で
受け継がれる
ようかんの味。



2



1



4

1.最初に、棒寒天をお湯で煮溶かしておく。2.砂糖、生あんを加えていくと、鍋をかき混ぜるへの重みが増していく。見た目以上に重労働な工程だ。3.表面がつややかな光沢を放つようになるまで、すべて溶かし切ることが大切。4.まき釜の火力は強く、絶えず手を動かしていないとすぐに焦げてしまう。最後まで気を抜けない作業が続く。また、かまどから炭を除き、新しいまきをくべる作業も合間に行っている。5.ゴム風船にようかんを詰める作業。ゴムひもで手早く口を締め、冷水に浸していく。6.店内には多彩な和菓子が並んでいる。



3



6



5

こだわりの「もう一品」



ほうじょうかん
宝潤養 1個400円

板状のようかんの上に、ドライフルーツやナッツなどをトッピング。甘口の白ワインと合わせるとベストマッチするそう。

自販機でも買える！



玉嶋屋から歩いて20分ほどの場所にある県立霞ヶ城公園(国指定史跡二本松城跡)の入り口前には、時期限定の出店とようかんの自動販売機がある。



エスプレッソソーダ

750円
フードセットのオプションの場合310円。全てのコーヒーメニューは深煎り、浅煎りを選べます。



平野さん 永井さん

ロースターの平野氏とオーナーシェフの永井氏が営むので「ひらなが」なのです。

ごちそう Palette

No.30 飯坂温泉【福島県】

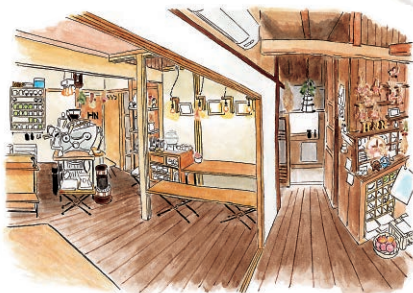
吉田いつし =取材・文・イラスト

とびっきりの熱い湯と奥深い歴史、
そしてちゃんこちゃんこを冒険しよう

「cafe HIRANAGA」



ゴダーチーズ
パンケーキプレート
1980円(コーヒー付き)



福島交通飯坂線 飯坂温泉
駅から徒歩7分、9時～
16時30分LO(4～9月の
土・日・祝は8時～)、火・
木休(水は女性限定、11
時～19時30分LO)。
☎024・502・2358

自家焙煎のコーヒーと質の高いフードメニュー。「ゴダーチーズパンケーキプレート」は、パネックといわれるオランダ式。薄くカリッと焼き上げた生地はチーズが香ばしく、カリカリのベーコンやラペ、サラダなどの付け合わせともよく合います。そして「エスプレッソソーダ」はふわりとした泡とソーダがコーヒーの香りを引き立てる、ふくよかで満足度の高い味わいです。

飯坂温泉冒険マップ

熱々の湯を誇る昔ながらの公衆浴場が8軒、また各所に足湯があります。路地と坂の多い街にある、いくつもの階段は「ちゃんこちゃんこ」と呼ばれ、風物の一つ。そして江戸初期に掘削された「西根堰」にまつわる深い歴史をたたえた街でもあります。さながら「体験と冒険の温泉街」といえるかも。



飯坂八幡神社

けんか祭り知られる飯坂温泉総鎮守。裏手には移築された鱈湖湯にまつわる歌碑「鱈湖碑」があります。早朝には背後の本殿に朝日が差し込み、まるで龍が光の玉をくわえたように。



鱈湖碑



鼻毛といえ
ばそう見え
なくもない。

西根上堰と遊歩道

西根上堰に沿って遊歩道になっています。周辺は「鼻毛の隧道(ずいどう)」と呼ばれ、江戸初期に掘削された当初の面影が残るそう。鼻の穴のような短いトンネルや、周囲の草木の根が毛のように垂れていることからこの一帯を「鼻毛」と呼ぶようになったそう。

西根堰とは

西根堰は江戸時代に掘削された農業用水路。土木学会選奨土木遺産。

懸樋(かけひ)

西根上堰の上を交差する用水を渡すための橋(樋=とい)がある珍しい風景。「樋越し=といごし」ともいう。

「懸樋」は土木用語で用水を渡すための橋で、「神田上水懸樋」が有名。「樋」は「雨」とい。「とい」。

十綱食堂

チャーシューのだしを使ったカツ丼は、甘辛く素朴な味わい。某グルメドラマで紹介されたこともあるお店。お持ち帰りも配達のみ。電話予約で受け取りがおすすめ。

☎024・542・4464



大門の湯

いちばん熱い
どのうわさ。



八幡の湯



八幡の湯



cafe HIRANAGA



ほりえや旅館



あゝしあわせの湯(足湯)



ちゃんこ



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館



なかむらや旅館

お菓子処 中村屋

人気の「元祖巻せんべい」は、飯坂温泉名物。中に白い餡が入っていて、ひと口目は固いがかむと柔らかさが残り、口溶けが良い。

巻せんべい
76円(2個入り)



阿部留商店

1878年から続く老舗商店。「ラヂウム玉子」の製造販売、青果や地元の特産品を販売しています。ラヂウム玉子のTシャツが楽しい。お店の奥でラヂウム玉子の梱包作業が見られたりします。

ラヂウム玉子
赤玉600円
(6個入り)



せんべい焼き器を持つ店主 中村さん。



西根神社

西根堰の開祖となる古河善兵衛と佐藤新右衛門を祀って、1886年に建立された神社。境内に高畑天満宮があり、「うそかえ祭」が有名。周囲に数多くある鶯(うそ)の石像や供えられた木彫りのウソ人形がかわいい。

トートム状のうそどりの石像。



なで牛さんは
スタイツ。

明神の
といごし



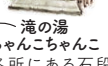
天王寺穴原湯



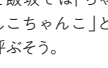
天王寺穴原湯



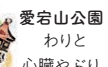
天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



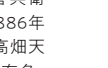
天王寺穴原湯



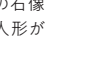
天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯



天王寺穴原湯

施設 & スポット



鯖湖湯 福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩5分。6～21時、月休。大人400円。タオル500円。
☎024・542・5223。施設によって、営業時間、定休日、料金が異なります。



飯坂町公衆浴場

江戸時代中期から街の各所にある外湯で湯治をするのが主流で、現在も8施設が営業しています。地元の人々は「普通ですよ～」と、にこやかに言いますが、とても熱いです。鯖湖湯でチャレンジしましたが、30秒も浸かっていただけませんでした。浸かり方や熱い湯のうすめ方など、案内をよく読んでから入るのがおすすめ。湯船に入らず、浴槽脇に座ってタライで体にお湯をかけながら湯気を浴びる、という利用の仕方でも良いかも。



福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩5分。9～21時、無休。入館無料。
☎024・542・8188

旧堀切邸

趣のある堀に囲まれた涼やかな施設。邸内に源泉掛け流しの足湯・手湯があり、歴史ある風景を眺めながらゆったりと疲れを癒やせます。江戸時代から続く旧家の屋敷を保存し観光文化交流施設として開館したもので、主屋や蔵の展示品を見学できます。

21時まで開館しているので、夜の散策や足湯も素敵です。受付でオリジナルタオルの販売(300円)あり。



なかむらや旅館

江戸時代から続く飯坂温泉を代表する老舗旅館。国登録有形文化財。それぞれの時代に建てられた江戸館と明治館からなります。玄関のいろりには炭がくべられ、土蔵造りの建物は周囲の音も心地良く、木の格子からこぼれるほのかなあかりの中、江戸時代の風情そのままに就寝できます。

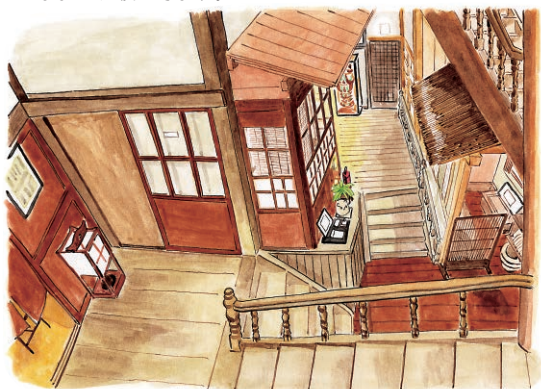
福島交通飯坂線

市民に親しまれるアットホームな感じのする路線。全線単線。始発と終点の改札ボックスには駅員さんがいて、切符を手渡しします。レトロなラッピングの電車や飯坂温泉ののれんがかけられた車両があり、公衆浴場の割引切符もあります。



駅員さんがいてくれる安心感。

車内を巡回する車掌さんが持つがま口のバッグがおしゃれ。



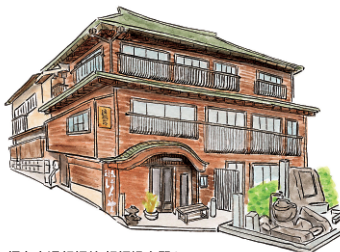
福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩5分。☎024・542・4050

江戸館と明治館の間の階段。



ほりえや旅館

鯖湖湯の隣にある明治時代創業の老舗旅館。創建当時から古風な建物には、プラモデルを展示した部屋や「温泉むすめ」のグッズを集めた部屋など、ユニークな部屋があります。さながらおもちゃ箱をひっくり返したよう。看板猫のフウちゃんが出迎えてくれます。



福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩5分。☎024・542・2702



「栄楽茶寮」

家庭的で手の込んだランチメニューが自慢のお店。北海道産のラウンプキの煮物や、フキ味噌、飯坂名物ラヂウム玉子、自家製のヨーグルトやおはぎなどバラエティに富みつつもどこかホッとさせるラインアップ。野菜中心ながらもご飯がすすみます。



店主
高橋さん

福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩2分・11時30分～15時・火・水休。☎024・542・2661



栄楽ランチ
1300円

肉みそ
カルボナーラ
1250円



「oncafé本店」

鯖湖湯の向かいにあるとてもリラックスできるカフェ。和洋折衷のアイデアが光るランチメニューが並びます。「肉みそカルボナーラ」はホワイトソースのスープパスタで、上にラヂウム玉子がのり、ほんのりとガーリックが香ります。人気の「アップルケーキ」はリンゴが香るフワリとした蒸しケーキ。そして懐かしい「クリームソーダ」もうれしい。



飯坂温泉へは、福島交通飯坂電車の利用が便利。
☎福島交通飯坂電車☎024・558・4611



アップル
ケーキ
600円



福島交通飯坂線 飯坂温泉駅から徒歩5分。12～16時(土・日・祝は11時30分～)。水・木・日休。☎024・542・3159

クリーム
ソーダ
600円



店長
藤原さん

みちのりイチオシ
夏イベント



写真＝青森観光コンベンション協会

勇壮な山車と元気なハネトに熱狂！

●8月2～7日
青森ねぶた祭

[青森県青森市・新町通りほか]

「人形ねぶた」と呼ばれる巨大な山車を先頭に、ハネト（踊り子）たちが「ラッセラー、ラッセラー」と掛け声を上げながらエネルギーに踊り歩く。最終日には祭りで大賞をとったねぶたが海上を運行し、その頭上で約1万発の花火が打ち上げられる。

☎017・723・7211（青森観光コンベンション協会）

📍アクセス 青森駅から徒歩10分



伝統の「親子神輿対面」は必見！

●7月15～20日
二荒山神社天王祭

[栃木県宇都宮市・宇都宮二荒山神社]

二荒山神社境内に鎮座する須賀神社の御祭神・スサノオノミコトによって邪気を祓う祭り。見どころは18日夕方の「親子対面神事」。各町会の子供神輿が市内を練り歩いた後、須賀神社の親神輿と対面し、二荒山神社の石段を駆け上がる。

☎028・622・5271（宇都宮二荒山神社）

📍アクセス 関東バス「宇都宮駅西口」から1番乗り場バス約5分の「馬場町（二荒山神社）」下車すぐ



にぎやかなパレードに盛り上がる

●7月25日、8月1・2日
水戸黄門まつり

[茨城県水戸市・国道50号（中央郵便局前交差点～大工町交差点）ほか]

水戸藩2代藩主・水戸光圀にちなんだ祭り。8月1・2日の本祭では水戸黄門カーニバルをはじめ、神輿渡御や多彩なステージが繰り上げられる。7月25日には水戸偕楽園花火大会も行われ、千波湖を舞台に約5000発の花火が夜空を彩る。

☎029・224・0441（水戸黄門まつり実行委員会事務局）

📍アクセス 水戸駅から徒歩10分（中央郵便局前交差点）



写真＝福島わらじまつり実行委員会

日本一の大わらじが練り歩く

●8月7～9日

福島わらじまつり

[福島県福島市・国道13号(信夫通り)ほか]

全長12mの巨大な大わらじを担いで市街地を練り歩くほか、白熱のわらじ綱引きやダイナミックな音楽に合わせて力強く踊る「わらじおどり」が練り広げられる。9日には信夫山の羽黒神社へ大わらじを奉納して祭りを締めくくる。

☎024・572・7118 (福島わらじまつり実行委員会)

アクセス 福島駅から徒歩5分



写真＝盛岡さんさ踊り実行委員会

ギネスに認定されたパレードも

●8月1～4日

盛岡さんさ踊り

[岩手県盛岡市・中央通会場(県庁前～中央通二丁目)ほか]

期間中は毎日18時からミスさんさ踊り集団や伝統さんさ踊りなどの参加団体らが、勇壮な太鼓のリズムや笛の音に合わせて華やかな群舞を披露する。最終日には「和太鼓同時演奏記録」世界一達成を記念した、太鼓だけが参加する圧巻の大パレードも。

☎019・624・5880 (盛岡さんさ踊り実行委員会)

アクセス 盛岡駅から徒歩15分



艶やかな日本一の花嫁行列

●7月22～24日

会津田島祇園祭

[福島県南会津町・田出宇賀神社、熊野神社ほか]

本祭にあたる23日には、神社まで約1kmの道のりを美しい振袖をまとった花嫁姿の女性たちが列をなして歩く「七行器(ななほかい)行列」が行われる。また、22・23日の夕方から4台の屋台が運行し、屋台上では子供歌舞伎が上演される。

☎0241・62・3000 (南会津町観光物産協会)

アクセス 会津田島駅から徒歩10分



体力自慢が己の限界に挑む

●9月6日

2026佐渡国際トライアスロン大会

[新潟県佐渡市・河原田小学校グラウンド(Start/Finish)]

自然豊かな佐渡島を舞台に、約2000人の選手がスイム、バイク、ランの過酷なレースに挑む。Aタイプ(ロング)とBタイプ(ミドル)にそれぞれリレータイプも設定。特にAタイプは、バイクで佐渡をほぼ1周するコースで、なんと国内最長距離のトライアスロン。

☎0259・67・7510 (佐渡市スポーツ協会)

アクセス 佐渡汽船「両津港」から車で約35分

福島交通

「福島バス物語」のご紹介
思い立ったら、福島へ。
自由に巡るバス旅



「急に明日時間が空いたけれど、今から申し込めるバス旅行は？」
「団体旅行は苦手で、一人で気軽に参加したい……」
「出張の合間に、福島の歴史や文化に触れたい！」
そんな声に応じて生まれたのが福島バス物語です。
ガイド・乗務員の同行はなく、自分のペースで自由に巡れるのが特長。
お一人様から利用可能で、1日コースから短時間コースまで、空き時間に合わせて選べます。

●エリア

福島／二本松／郡山／須賀川／白河／
会津／いわき

<https://busmonogatari-top.quicktrip.jp/>

詳細は
こちらから



佐渡汽船

船内謎解きイベント

「波に漂うメッセージボトルの謎」
開催

5月から約半年間にわたって、佐渡汽船新潟発フェリー船内で謎解きイベントを実施。ご家族で・友人同士でチャレンジしてみませんか。

●5月20日～10月31日

※除外期間：

8月8～16日・

9月19～23日

●新潟港発⇒両津港行
カーフェリー船内
(おけさ丸・ときわ丸)

●新潟発

9:25/12:35 限定

●参加費：無料

●船内案内所付近に

謎解きキットを設置



●お問い合わせ先 佐渡汽船 グループ企画業務部
mail : g-kikaku1@sadokisen.com

読者
PRESENT

P26・27でご紹介した銘菓をプレゼント!
編集部セレクトの商品に応募してみませんか?



玉羊羹10個入り箱

3名様まで

二本松市にある『御菓子師 玉嶋屋』で販売されている「玉羊羹 10個入り箱」。詳細はP26・27をチェック!

●応募要項

応募締切:2026年8月31日(月)

ハガキに 1 お名前(ふりがな) 2 年齢 3 性別
4 郵便番号とご住所 5 電話番号 6 プレゼント名
7 右のアンケートの回答を明記の上、郵送してください。

●送り先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-11-7F
株式会社交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部
「みちのり2026年夏号」係



スマートフォン、タブレットからの
応募はこちらから

アンケート

みちのり2026年夏号について

- A 一番面白かった記事、コーナーは?
- B みちのりエリアで、おすすめのラーメンを教えてください。
また、アンケートの内容は冊子制作の参考にさせていただきます。

今回の高速バス・船のご利用について

- C 利用路線 D 利用用途 E 同行者数
- F みちのりグループの高速バス・船利用頻度
- G 高速バス・船を使用する際に見る情報源は
- H 車内のフリーWi-Fiについて
- I 導入してほしいサービスや、新しい路線など
- J ご意見やご要望

アンケートにお答えいただいた方全員に
「スマホスタンドになるスリムふせん」を
プレゼント!

※白、黒の2色ございます。色はお選びいただけません。



